

総合型選抜入試

【体験授業型】

受験するにあたり、必要な情報やアドバイスが学科ごとにまとめてあります。よく読んで、試験に備えてください。

- [国際英語学科](#)
- [総合歴史学科](#)
- [音楽芸術学科](#)
- [経営学科](#)
- [多元心理学科](#)
- [建築デザイン学科](#)
- [情報デザイン学科](#)
- [食環境栄養学科](#)
- [看護学科](#)

国際英語学科

○評価方法

レポート	講義を受けた後のレポート作成では、授業の概要をまとめた後、これに関連付けて自分の考えをまとめます。理解力、論理的思考力、本学科の専門分野に対する理解や意欲などを、審査し評価します。
面接	レポートの内容、英語の学習歴、志望理由などについて質問します。質問を通して、コミュニケーション力、入学後の学びに対する意欲、卒業後のビジョンなどについて評価します。

○体験授業型を受験するにあたって

体験授業型では、日本語による 50 分の講義を受講し、その後、レポートを 60 分かけて作成します。講義では、教員が英語学習、英語の特徴、英米文化等に関する内容からテーマを選んでお話しします。メモを取りながら、リラックスして受講してください。レポートには、講義のポイントと、自ら関心を抱いたことや考えたことを書いていただきます。講義をふまえて、自分の意見を明確に述べることであれば、よいレポートになります。

○アドミッション・ポリシーについて

国際英語学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。
学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/english/#block-3>



総合歴史学科

○評価方法

授業（アクティブラーニングを含む）	体験授業として総合歴史学科の講義を受けた後、テーマに関連したグループワークを行います。グループワークでは学習意欲、主体性、協調性などを評価します。
レポート	講義テーマに基づくレポートの作成を課題とします。講義内容を正確に理解できているか、その上で自らの見解を論理的に書くことができているかを審査します。あわせて、基本的な文章構成力についても評価します。
面接	レポートの内容とあわせて、志望理由、高校時代に学んだこと、大学で学びたいこと、卒業後のビジョンについて質問します。そこから、本学科での学びへの理解と意欲を総合的に評価にします。

○体験授業型を受験するにあたって

従来の知識偏重型入試からの脱却

体験授業型は、大学での学びを疑似体験できる貴重な機会です。体験授業を通して、歴史の面白さに触れ、グループワークを通して、仲間と議論を深めることで、あなたの知的好奇心や探求心を刺激してください。私たちは、あなたがこの体験を通して、新たな可能性を発見することを願っています。

体験授業型入試：大学の学びを体験し、仲間と議論を深めよう！

- 体験授業：総合歴史学科の教員による体験授業を受講します。
- グループワーク：体験授業の内容に関連したテーマについて、他の受験生とグループワークを行います。他の人の意見に耳を傾けることと、自分の考えを提示することが求められます。積極的に議論に参加してください。
- レポート作成：グループワークをふまえて、各自でレポートを作成します。授業の内容をまとめた上で、自分の見解や関心事を述べてください。

○アドミッション・ポリシーについて

総合歴史学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。

学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/history/#block-3>



音楽芸術学科

○評価方法

授業（アクティブラーニングを含む）	1人30分の個人（実技）レッスンを実施します。演奏曲目はバロック時代～近現代の作曲家から任意の作品とします。ただし、作曲・アレンジコースは自作曲や自編曲の音源または楽譜を持参してください。それに基づいてレッスンを行います。また、ミュージックカルチャーコースは授業を受けながら、当日示す課題を元にミニレポートを作成してもらいます。個人レッスンに対する意欲、理解力や音楽の基礎的な技術、知識といった音楽的資質などを総合的に評価します。
レポート	実技レッスンに基づいた個人レポートを課します。レッスン内容についての理解、発見した課題への今後の取り組み方などについて、主観的・客観的に記述できているかを評価します。
面接	個人レポートの内容、音楽分野における学習歴・活動歴及び志望動機に関する質問を通して、入学後の学びに対する意欲や将来の展望を明確に持っているかを評価します。

○体験授業型を受験するにあたって（昨年度の講評）

個人（実技）レッスンでは、任意の曲目のレッスンを通して、受験生の基礎的な技能のほか、作品に対する理解や知識、アドバイスに対しての瞬時の理解力、応用力を総合的に評価しました。レポート作成及び面接では、テーマの内容や、質問に対しての思考力・判断力・表現力を評価しました。面接の際には、将来の具体的な目標や進路に向けての展望が持っているか等もはっきり伝えていただくことが大切です。

○アドミッション・ポリシーについて

音楽芸術学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。
学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/music-art/#block-3>



経営学科

○評価方法

授業（アクティブラーニングを含む）	授業内で講義テーマに関連したグループワークを課します。また、グループワークでの協議の結果をグループ毎に発表します。グループワークでの取り組みにより主体性と協働意欲を、グループ発表の内容により思考力と表現力を評価します。
レポート	講義テーマに基づいた個人レポートを課します。簡潔に要約できる情報の取捨選択能力、自分の見解を論理的に記述する能力、文章構成力などを含めた基礎能力、および大学で学ぶ熱意、ビジョンや将来像について審査し評価します。
面接	志望理由や将来像、高校で学んだ成果や学内外での諸活動、レポートの内容などについて質問します。本学科に対する適性および学修に対する意欲・熱意や態度を総合的に評価します。

○体験授業型を受験するにあたって

体験授業型では、50分の体験授業を受講し、その後、60分かけてレポートを作成します。体験授業の前半は、政治や経済の仕組みや事象の中から高校生のみなさんにとっても身近な内容を取り上げて講義をしますので、配布資料に講義内容をメモしながら聴講してください。体験授業の後半は、講義の内容に関連したグループワークに取り組みますので、積極的に他のメンバーと意見交換しながら協力し、グループとしてのワークの成果を高めるように関わってください。

レポートでは、講義の内容をまとめるとともに、講義の中で特に関心の高かったことやそれに対する考えを書いてください。また、併せて、経営学科で特に力を入れて学びたいことや取り組みたいこと、将来のビジョンを含めて書くと良いでしょう。

○アドミッション・ポリシーについて

経営学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。

学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/business/#block-3>



多元心理学科

○評価方法

レポート	授業内容に基づいたレポートを課します。情報を取捨選択し、俯瞰的に捉えながら自身の見解を論理的に記述するなど、基礎的な能力に加え、大学で学ぶ熱意や持っている将来像を評価・審査します。
面接	志望理由や将来のビジョン、高校までに学んできた学習内容や諸活動、レポートの内容などについて質問します。本学科で育てたい学生像および学びへの理解、学修意欲などを総合的に評価します。

○体験授業型を受験するにあたって

高等学校等における学修をふまえ、講義で説明した内容をきちんと理解する能力や、学びの姿勢を身につけているかについて、まず確認いたします。その上で、こころの探求に関心を持ち、社会的事象に対する理解を深めることができ、他者を尊重しつつ自己主張ができる学生を育てたいと考えております。そのため、学修に意欲的に取り組むことのできる姿勢を持っているか、物事を多面的に捉え、いろいろな切り口から考える姿勢を持っているのかをチェックします。特に、学んだ専門知識をベースに自ら考え、実現する行動力、新たな価値の想像を目指す意識、社会に役立つ人材として成長していこうとする意欲を備えていることを重視します。「志望理由書」は学科の特徴を理解し、身の回りの事象に好奇心をもちつつ、自己と他者の理解に関心をもっているかを判断する基準とします。加えて、心理学の学修に積極的で前向きな姿勢を持っているのかを評価します。

○アドミSSION・ポリシーについて

多元心理学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。

学科のアドミSSION・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/plural-mentality/#block-3>



建築デザイン学科

○評価方法

授業（アクティブラーニングを含む）	授業内で講義テーマに関連したグループワークを課します。また、グループワークでの協議の結果をグループ毎に発表します。グループワークでの取り組みにより主体性と協働意欲を、グループ発表の内容により思考力と表現力を評価します。
レポート	講義テーマに基づいた個人レポートを課します。論理的思考力、大学での学びの意欲、情報を関連付けて活用できる能力を審査し評価します。
面接	授業とレポートに関することを含めて質疑応答を行い、本学科のアドミッション・ポリシーに沿う力を有しているかを評価します。

○体験授業型を受験するにあたって

体験授業型では、住居、建築、インテリア、都市に関する講義を行い、その内容をもとにグループワークを実施します。

グループワークでは、講義内容を正しく理解したうえで、意見交換を行う力が求められます。他者の考えを的確に把握しつつ、自分の意見を論理的かつ分かりやすく表現する力を養っておいてください。この試験では、思考力・判断力・表現力に加え、主体性や他者と協力する姿勢も重要な評価対象となります。

また、体験授業後に提出するレポートでは、授業の要点をまとめるとともに、自身の考えを整理し、大学で学ぶ意欲、大学卒業後のビジョンや将来像についても考えておきましょう。

○アドミッション・ポリシーについて

建築デザイン学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/archi-design/#block-3>



情報デザイン学科

○評価方法

授業（アクティブラーニングを含む）	授業内で講義テーマに関連したグループワークを課します。また、グループワークでの協議の結果をグループ毎に発表します。グループワークの実施過程・内容により主体性と協働意欲を、グループ発表の内容により思考力と表現力を評価します。
レポート	講義テーマに基づいた個人レポートと、グループワークにおける振り返りのレポートにより、受験生が自らの意見を発信する力、相手の意見を傾聴する姿勢、意見交換の積極性を評価します。
面接	①志望理由（大学で学ぶ熱意、ビジョンや将来像）、②高校での「総合的な探究の時間」で学んだ成果や学内外での諸活動、およびそれらを入学後にどのように活用するかについて質問します。それにより大学での学びの意欲と情報を収集・活用する力について評価します。

○体験授業型を受験するにあたって

授業テーマに沿って行うグループワーク・発表では、目の前の課題に対してグループ全員で協力して時間内に答えを導き出すためのコミュニケーションが重要になります。メンバーは、相手の意見を傾聴した上で自らの意見を言うことができ、短時間でも建設的かつ主体的にグループワークに取り組むことが期待されます。結果だけではなく、結果に至るまでの取り組みの過程を評価します。レポートでは体験授業の振り返りを行うことで、何を学び、その学びを大学生活でどう生かすべきかなどを問います。例えば、体験授業でうまくいかなかったことがあっても、その原因を探し、次にどうすればうまくいくのかを導き出す姿勢が表れているレポートは高く評価されます。

面接では、簡潔に相手に伝えることに加えて「伝わる」ように表現することが求められます。自分の伝えたいことを的確に言葉にできるよう練習しておきましょう。また、聞かれた質問に答えることはもちろんですが、自身の考えの根拠を示しながら伝えられると良いでしょう。

○アドミッション・ポリシーについて

情報デザイン学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/info-design/#block-3>



食環境栄養学科

○評価方法

授業（アクティブラーニングを含む）	本学科の学びの内容をふまえた講義およびグループワークを実施し、受験生自らの発言・意見について、その積極性や協調性、論理性などを評価します。
レポート	授業のテーマに基づいた個人レポートを課します。 授業内容を客観的に要約する能力、論理的思考力、本学科の専門分野に対する理解について審査し評価します。
面接	志望動機、本学科の学びに対する理解や意欲、卒業後のビジョンなどを総合的に評価します。

○体験授業型を受験するにあたって

食環境栄養学科の総合型選抜入試の体験授業では、食や栄養など本学科の学びを踏まえた内容についての講義とグループワークを行います。日頃から、食や栄養に関する書籍やニュースに触れ、情報を正しく理解し、わかりやすく伝えるための表現力を養っておきましょう。

授業では、食や栄養に関する教員の講義をします。教員の話に注意深く聞き、グループワークやレポートを作成するためのメモを取りましょう。グループワークでは、他の受験生の意見に耳を傾け、自分の考えをわかりやすく伝えましょう。

体験授業後のレポートでは、授業内容とグループワークの内容を要約し、自分の意見を具体的にまとめましょう。

面接では、志望動機に加えて、学習意欲、管理栄養士を目指す理由や将来のビジョンを示してください。

○アドミッション・ポリシーについて

食環境栄養学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。
学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/food-nutrition/#block-3>



看護学科

○評価方法

授業（アクティブラーニングを含む）	授業テーマに関連したグループディスカッションを課します。グループディスカッションの実施内容により、受験生の主体性と協調性、コミュニケーション能力、思考力を評価します。
レポート	授業テーマに基づいた個人レポートを課します。グループディスカッションにおける内容と、自らの意見を加えて整理し、論理的に記述する能力を評価します。
面接	志望理由と看護師としての将来像、高校で学んだ成果や学内外での諸活動などについて質問します。それにより、大学での学修に対する意欲を評価します。

○体験授業型を受験するにあたって

「授業」では、講義内容をふまえたグループディスカッションで、講義内容を理解する力、思考力、判断力、表現力とともに、主体性と協調性、コミュニケーション能力を評価します。「レポート」では、授業テーマに基づいたグループディスカッションにおける内容を、自らの意見を加えて整理し、論理的に記述する能力を評価します。

「面接」では、志望理由に加え、看護師としての将来像、高校で学んだ成果や学内外での諸活動などについて質問し、大学での看護学の学修に対する姿勢を評価します。

「書類審査」では、大学で学ぶために必要な基本的知識・技能を身につけているか、また、自己の健康管理能力、本学科への志望動機とともに、入学後の学習意欲など、目的意識、看護を学ぶことに対する関心や熱意を審査いたします。

○アドミッション・ポリシーについて

看護学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。

学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/nursing/#block-3>

